



当社ホームページ
[\(http://www.takeuchi-mfg.co.jp/\)](http://www.takeuchi-mfg.co.jp/)



東証一部上場

証券コード 6432

Made in JAPAN. Made in NAGANO.

TAKEUCHI

第56期 報告書

2017年3月1日から2018年2月28日まで

株式会社竹内製作所
 〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205番地



古紙配合率70%再生紙を使用しています



株式会社 **竹内製作所**



機種名 TB225

企業理念

世界初から世界の TAKEUCHIへ

- ・私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、**TAKEUCHI**のものづくりを追求します。
- ・グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ・一人ひとりがつまみ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

社 是

創造

Creation

豊かな感性をもって、
ニーズに応えた商品開発をする。

挑戦

Challenge

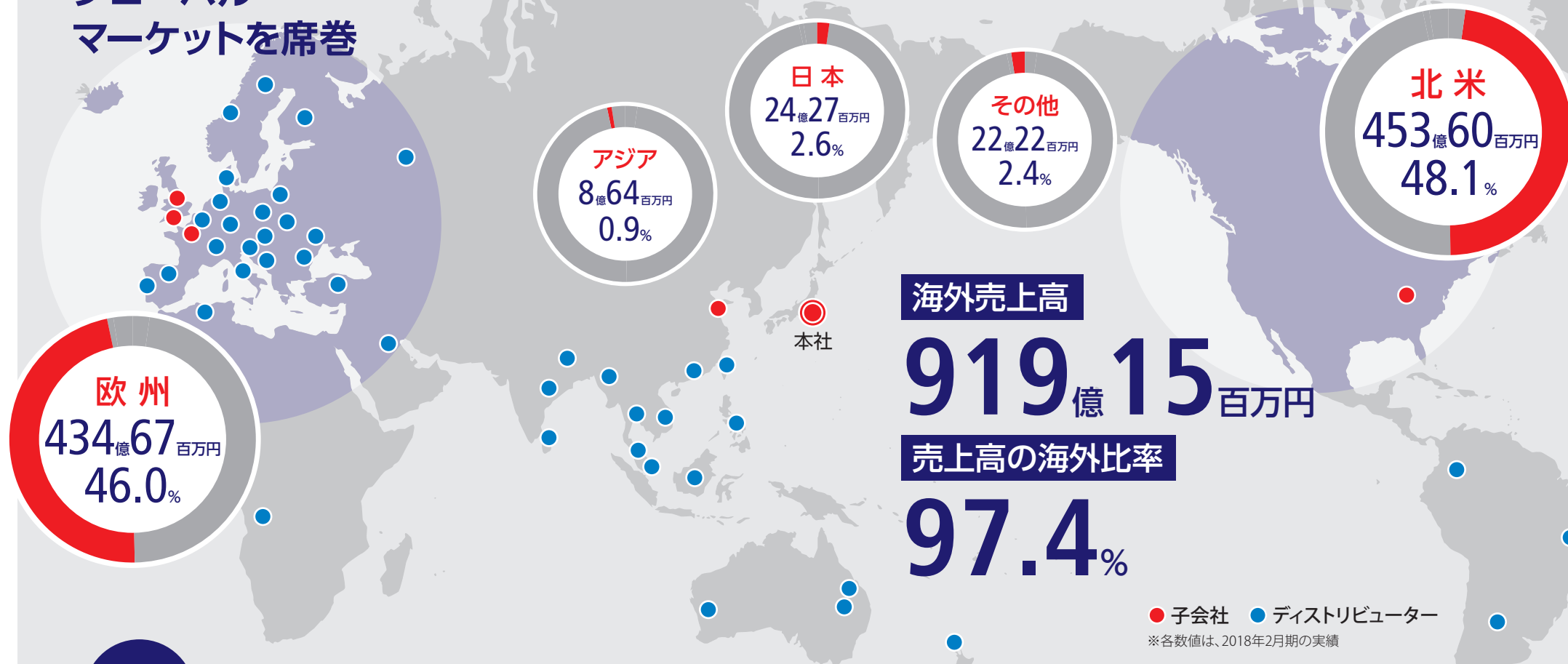
夢と若さをもって、より高い
目標に向かって果敢に行動する。

協調

Cooperation

和と思いやりの心をもって、
調和の取れた社会との共生を図る。

欧州、北米市場を中心に、 ミニショベルの グローバル マーケットを席卷



グローバル ネットワーク



英国 (販売子会社)

TAKEUCHI
MFG. (U.K.) LTD.

1996年設立



フランス (販売子会社)

TAKEUCHI
FRANCE S.A.S.

2000年設立



中国 (生産・販売子会社)

竹内工程機械(青島)
有限公司

2005年設立



米国 (販売子会社)

TAKEUCHI
MFG. (U.S.), LTD.

1979年設立

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター（当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店）を通じて販売を行っております。

中期経営計画の達成に向け 事業の質的向上を追求

代表取締役社長 竹内 明雄



Q 2018年2月期の業績と2019年2月期の見通しについてお話しください。

A 2018年2月期は、米国の持続的な景気拡大と欧州の好調な景気を背景に、当社グループ売上高の9割以上を占める欧米において、当社製品への需要は引き続き堅調なものとなりました。こうした中で、販売網を拡充して積極的な販売活動を展開したことから、当社グループのミニショベル、油圧ショベルおよびクローラーローダーの販売台数は、前期と比較して増加しました。

この結果、2018年2月期の売上高は、過去最高となる943億4千2百万円（前期比13.7%増）となりました。利益面については、原材料価格の上昇、人件費や研究開発費の増加等を増収効果で吸収し、営業利益は141億3千3百万円（同5.4%増）、経常利益は、為替差損が減少したことにより140億3千3百万円（同19.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は95億4千7百万円（同23.1%増）となりました。

2019年2月期も、欧米の経済は堅調さを維持する見通しです。このため、欧米における当社製品への需要

は高い水準を維持し、販売台数は増加するものと予想しています。さらに、2018年1月から3月にかけて販売を開始した新製品効果による販売台数の上乗せも期待され、2019年2月期の売上高は970億円（前期比2.8%増）となる見通しです。

利益面については、原材料コストの上昇、前提為替のうち米ドルをドル安に設定したことにより、営業利益は127億円（同10.1%減）、経常利益は124億円（同11.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円（同5.7%減）となる見通しです。

Q 中期経営計画の達成に向けた取り組みをお聞かせください。

A 現在当社は、3カ年の中期経営計画に取り組んでおり、2019年2月期はその最終年度となります。最終年度の数値目標は、売上高886億円～940億円、営業利益率15%～19%で、売上高については2018年2月期ですでに達成し、2019年2月期も増収を予想しています。一方で、2019年2月期の営業利益率は、中期経営計画の想定を超えた為替レートを前提と

したこともあり、目標を下回る予想数値となっています。

従いまして、2019年2月期は、中期経営計画の数値目標達成に向け、以下の課題に取り組んでまいります。まずは、当社グループの主力マーケットである欧米に経営資源を重点配置して販売網を拡充し、その質的向上に取り組めます。米国子会社において全世界統一のブランド戦略を企画、実施し、「Takeuchi」ブランドの向上と定着に努めるとともに、アフターサービスの強化を進め、顧客満足度の向上を図ってまいります。

製品開発につきましては、性能面とともに、乗り心地や快適さについても数値化して追求し、お客様に選ばれ続ける製品開発を推進します。生産能力の強化については、本社工場のライン構成や工場内物流の最適化による生産性の向上に取り組めます。また、中国の製造子会社を含めた海外からの部品調達比率を、2年前の20%から2019年2月期末には30%にまで高め、為替変動への対応力の強化に努めてまいります。

これらの施策を実行し、中期経営計画の数値目標達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

Q 最後に株主還元についてお教えください。

A 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けています。2018年2月期の期末配当は、前期比10円増配の、1株当たり36円とさせていただきます。経営体制の強化ならびに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針とした上で、当期の業績を勘案して決定しました。2019年2月期は、前期比4円増配の1株当たり40円を予想しています。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 3カ年の中期経営計画(2016～2018年度)の進捗

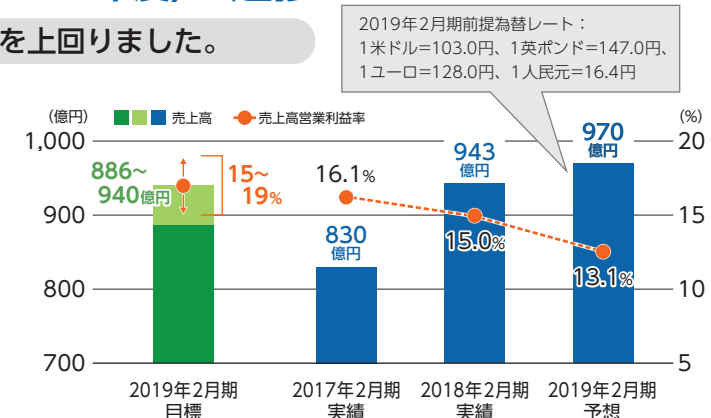
売上高は、2018年2月期に数値目標を上回りました。

中期経営計画 最終年度(2019年2月期)の数値目標

※2016年4月公表

売上高	売上高営業利益率
886～940億円	15～19%

※前提条件：1米ドル=105～115円、1英ポンド=150～167円、1ユーロ=120～130円、1人民元=16.5～18.0円



世界3大見本市の一つ、「INTERMAT」に出展

当社グループは、2018年4月23日～28日の6日間、フランスのパリで開催された国際土木建設機械見本市「INTERMAT 2018」に出展しました。フランス国内のみならず、世界中から集まってくる来場者で大盛況となった同見本市において、当社は、新製品を含む多くの展示やデモンストレーションを実施し、当社製品を世界中にアピールすることができました。

「INTERMAT」は、「CONEXPO」(アメリカ)、「BAUMA」(ドイツ)と並び、世界3大建設機械見本市の一つで、3年に一度開催される一大イベントです。



第一工場の増設工事が完了、生産能力のさらなる向上へ

第一工場の増設工事が2018年1月に完了し、稼働を開始しました。増設後の建屋では、第一工場のメインラインへ供給するサブ組立が行われます。また、今まで第二工場にて生産していた機種の一部を第一工場に移管することにより、工場間のバランスの最適化が進みました。この増設工事により、生産の効率化が図られ、本社工場全体の生産能力は8%向上しています。当社は、工場増設により生産能力を増強することで、お客様からの受注にお応えしてまいります。



コンパクト・クローラーローダー『TL6R』を発売

不整地での積込・運搬・掘削を得意とするクローラーローダーの新機種を、2018年1月より販売開始しました。コンパクトな機体でありながら、作業に必要とされるパワーをしっかりと発揮し、限られたスペースでの作業に最適な機種です。同製品の市場投入によって、当社の重量別クローラーローダーの製品が出揃い、充実した製品のラインナップによって、クローラーローダーのさらなるシェア拡大を図ってまいります。



TL6R

コンパクトなミニショベル『TB225』を発売

2.3トンのミニショベル『TB225』を、2018年3月より販売開始しました。同製品は欧州のお客様から寄せられたニーズにお応えした製品で、「欧州の普通自動車免許で公道を搬送可能なコンパクトで使いやすいミニショベル」をコンセプトに開発されました。これまで当社では1.9トンと2.8トンラインナップしていましたが、これらのサイズと性能の間隙を埋める、「ちょうど良い」製品となっております。今後もお客様からのニーズを的確に捉え、お応えできる企業として努力してまいります。



TB225

米国カリフォルニア州、ナパバレーのワイナリーからお礼状が届きました

2017年10月8日夜に米国カリフォルニア州のナパバレーで発生した大規模火事の消火活動に当社のクローラーローダーが使用され、10時間以上にわたり消火活動が行われました。消火活動を行った現地のワイナリーから、米国の当社現地法人にお礼状が届きましたのでその内容をご紹介します。

お客様からお礼状

We want to thank you for making a quality product. It was reliable and durable when we needed it most! My two brothers and their friend battled the Tubbs fire in the Napa Valley the night of October 8th. They would've lost everything without the skid steers. They battled the fire for 11 straight hours and ran it full throttle using three tanks of gas! They saved most of the 80 acres their houses and most of the structures plus a vineyard. The property has been in our family since 1958, and it's more than just a bunch of structures. Saving it would not have been possible without the skid steers. The fire was so bad 30 homes were lost on the road and two people lost their lives... My brothers would never think of writing you this note, however, I felt compelled to tell the story because without the quality of your machinery they would've lost everything like so many others. Thank you and thank all of your employees for making a difference in one family's life.

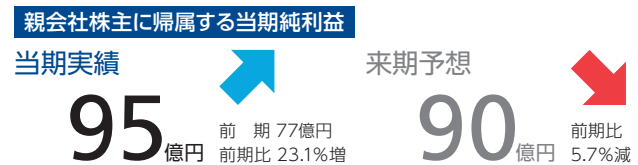
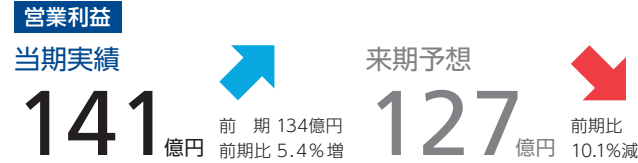
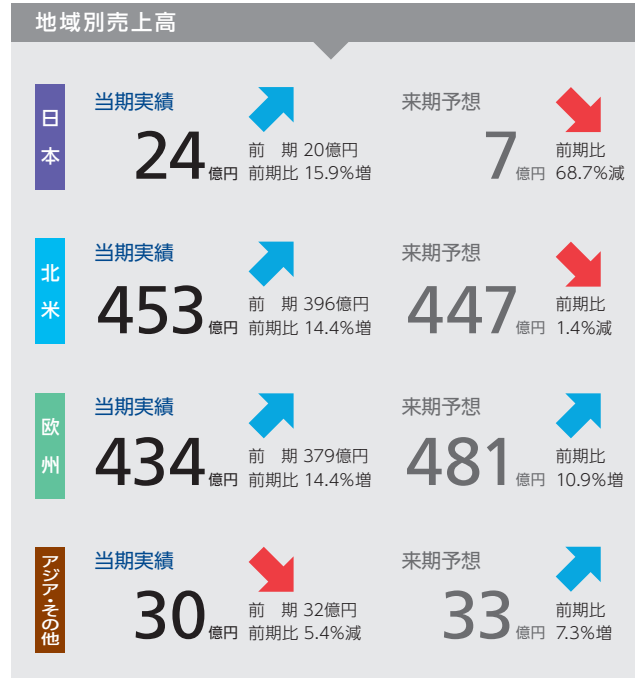
The Fowler's

翻訳(要約)

私の2人の兄弟とその友人は、10月8日の夜にナパバレーで発生した山火に、貴社のクローラーローダーを使用して消火活動を行いました。11時間連続で作業し、80エーカーにも及ぶ土地、家、小屋、ブドウ畑のすべてを守ってくれました。火災はとても激しく、他の敷地では30棟もの家屋が消失しました。この頑丈で頼りになるマシンがなかったら、私たちは1958年から大切に守ってきたすべてを失っていたでしょう。耐久性と信頼性の高い製品、そして貴社社員の方々から感謝いたします。

フォーラーより

Consolidated Financial Highlight 連結財務ハイライト



Point 1 配当金について

当期の連結業績の動向を踏まえて総合的に勘案した結果、2017年10月10日に公表した1株当たり配当予想32円を修正し、36円の配当を実施いたしました。これにより前期実績に比べ10円の増配となりました。

Point 2 地域別売上高の来期予想について

来期の日本における売上高は、OEM製品の減少や攪拌機事業の譲渡によって、前期比68.7%減となる見通しです。北米では、販売台数は13%の増加を見込みますが、前提為替レートの影響で前期比微減を予想しています。欧州では、販売台数の増加や売価見直しの値戻し効果により、前期比10.9%増を予想しています。

Consolidated Financial Data 連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表 (単位：百万円)

区分	前期 2017年2月28日現在	当期 2018年2月28日現在
[資産の部]		
流動資産	72,278	80,614
固定資産	10,806	11,185
資産合計	83,085	91,799
[負債の部]		
流動負債	21,683	22,540
固定負債	1,321	1,152
負債合計	23,005	23,692
[純資産の部]		
株主資本	58,612	66,921
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	53,327	61,633
自己株式	△1,978	△1,976
その他の包括利益累計額	1,467	1,185
その他有価証券評価差額金	26	22
為替換算調整勘定	1,261	1,053
退職給付に係る調整累計額	178	109
純資産合計	60,080	68,106
負債純資産合計	83,085	91,799

連結損益計算書 (単位：百万円)

区分	前期 自 2016年3月1日 至 2017年2月28日	当期 自 2017年3月1日 至 2018年2月28日
売上高	83,000	94,342
売上原価	62,276	72,365
売上総利益	20,724	21,976
販売費及び一般管理費	7,320	7,842
営業利益	13,404	14,133
営業外収益	138	252
営業外費用	1,820	352
経常利益	11,722	14,033
特別利益	5	—
税金等調整前当期純利益	11,727	14,033
法人税、住民税及び事業税	4,042	4,059
法人税等調整額	△72	426
親会社株主に帰属する当期純利益	7,757	9,547

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

区分	前期 自 2016年3月1日 至 2017年2月28日	当期 自 2017年3月1日 至 2018年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,823	10,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,442	△1,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,066	△1,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,316	△1,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,630	6,778
現金及び現金同等物の期首残高	20,002	23,633
現金及び現金同等物の期末残高	23,633	30,411

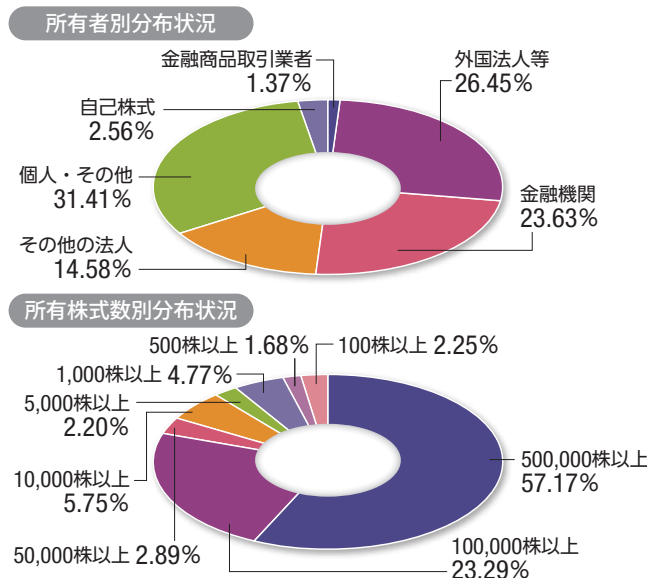
株式の状況 (2018年2月28日現在)

発行可能株式総数	138,000,000株
発行済株式の総数	48,999,000株
単元株式数	100株
株主数	9,011名
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,907	12.37
竹内 敏也	3,895	8.15
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,893	6.05
公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会	2,702	5.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,962	4.11
東京中小企業投資育成株式会社	1,803	3.77
株式会社テイク	1,800	3.77
竹内 好敏	1,500	3.14
株式会社八十二銀行	1,440	3.01
竹内 民子	1,440	3.01

※持株比率は自己株式(1,253,858株)を控除して計算しております。

●株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	毎年2月末日 (中間配当を実施するときは8月31日)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
(同郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要 (2018年2月28日現在)

商号 株式会社竹内製作所
(英文社名) TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
本社 〒389-0605
長野県埴科郡坂城町上平205番地

代表者 代表取締役社長 竹内 明雄

設立年月日 1963年8月21日

資本金 3,632百万円

事業内容 建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売

従業員数 715名(連結)

●主要な工場及び営業所

工場	所在地
本社工場	長野県埴科郡
戸倉工場	長野県千曲市
千曲工場	長野県埴科郡

営業所	所在地
東京営業所	東京都港区
大阪営業所	大阪市中央区
名古屋営業所	名古屋市中川区

●役員の状況 (2018年5月24日現在)

代表取締役社長	竹内 明雄
取締役副社長	竹内 敏也
取締役	渡辺 孝彦
社外取締役(常勤監査等委員)	草間 稔
社外取締役(監査等委員)	小林 明彦
社外取締役(監査等委員)	岩淵 道男

●ネットワーク

日本	株式会社 竹内製作所
米国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG.(U.S.), LTD.
英国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.
フランス(販売子会社)	TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
中国(生産・販売子会社)	竹内工程機械(青島)有限公司



本社・本社工場 (第三工場)